

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年2月5日

事業所名： 合同会社BankLife Rosetta BASE

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	車いすを置くスペースや物の位置、利用者の過ごす位置などその日毎で工夫して動線確保している。使わない物は風呂前スペースなどに置き生活スペースをより広く使えるように対応している。これが定着している。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	引き続き、今のことを継続し、日々スタッフ間で相談しながらより良い形でスペースを使えるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	各専門職が正社員として在中しており、最低利用者1対1の割合でスタッフを配置している。スタッフが休みの際はもう一つの施設からヘルプを要請したり、派遣をお願いしたりとスタッフ確保に努めている。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	十分なスタッフ配置となっているため、今後も継続していく。4月よりまた専門職のスタッフが増えるのため、より安全に配置していきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレ内に段差はあるが特に困っていることはない。室内はバリアフリー化されているが、道路に出るまでの敷地に大きな段差があり、そこにスロープを設置している。情報伝達についてはプライバシーの部分を別の言い方にするなど工夫しており、スタッフ間での情報共有にLINEを使用している。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も利用者が過ごしやすいうように課題が出た際、スタッフ間で話し合い、環境整備をしていく。情報伝達も今の形で継続していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	冬場は乾燥しないよう加湿器を、夏場は暑いのが苦手な方のために空調マットを使用。その日の気温に応じて、空調調整を行い、毎日掃除と消毒を行っている。またシーツやタオル、クッションカバー等毎日洗濯をしており、使用したおもちゃや絵本、楽器の消毒をその都度実施している。ドアノブや床の消毒も毎日実施。壁に季節ごとの装飾を施すことで季節を楽しめるように工夫している。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	引き続き、掃除、洗濯、消毒等実施する。特に利用者が使用するおもちゃや絵本はその都度消毒をし、清潔を保つように心掛ける。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回ずつ施設又は全体でミーティングを行っており、多職種のスタッフも参加し話し合っている。施設のミーティングでは改善点や疑問点がある場合、議題として出しみんなで話し合う場を設けている。		ミーティングでの話し合いの他にもその都度話し合うことがあれば、その場を設けて業務改善を目指していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、実施していない		今後第三者委員会の設置及び評価を検討す

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	別会社の研修アプリを使用。毎月項目ごとに分かれており、空いている時間を活用して動画視聴している。また実技研修に関しては時間を取って行っている。 外部研修の機会を得るため、情報収集や情報提供に努めている。		施設内での勉強会や訓練、実技実施をより徹底していき、スタッフの資質向上、学習意欲に繋がるよう努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご家族からのモニタリングアンケートと日頃のアセスメントを基に、半年に1回会議を開いている。各専門職が集まり、ニーズや課題を話し合い、それに基づいて支援計画を作成している。その時間にいないスタッフについてはリモートで参加してもらっている。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	引き続き、各専門職が集まり会議を開いていく。 そして、ニーズの変化にしっかり応えられるよう、送迎時などにご家族からの聞き取りをし、スタッフ間で共有していく。今後も丁寧な情報収集を心掛けていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	支援会議にて各専門職で話し合い、個別性を踏まえてリハビリや活動、また集団活動の支援内容を作成している。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も子どもの状況や成長に応じ、個別活動・集団活動を組み合わせ、計画を立案していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用者の個別性、年齢、状況に応じて、具体的にニーズに合った内容を記載している。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も本人の状況、ご家族・相談支援員の意見を取り入れながら、ニーズに合った内容を記載していく。
適	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	会議にてスタッフ間でしっかり共有できていることもあり、実際現場でも計画に沿った支援を意識することができている。それを半年間継続していくことを更に心掛けたい。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0	継続していくためにどのようにスタッフに意識してもらうかが課題。支援計画を見る習慣を身に付けていきたい。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動担当のスタッフが中心となって1か月の活動内容を考えている。また他のスタッフにも案を聞くなどして他スタッフにも協力を得ている。	はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0	活動が偏らないようなプログラムを考案していく。またそのためにも担当以外のスタッフの案ももらいつつ、様々な活動に繋げていきたい。またもう一つの施設との連携や関わりを持ち、更なる活動内容の幅を広げていきたい。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は主に個人での活動をしているが、長期休暇などみんなでゆっくり活動できる時間が持てる時は、集団でできるゲーム等を考えている。 またケアに関しては抜けがないように1日の流れを休日と平日に分けて記載している。		平日は短い時間でできる活動を、長期休暇は時間があるので集団でできる活動を計画的に内容等決めて時間を無駄にすることなく実行していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
切な支援の提供(続き)	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	担当スタッフで様々な活動プログラムを考案している。考案した内容をミーティングで発表、スタッフ全体に共有、その時に担当以外のスタッフにも意見を取り入れることもあり、偏らないように様々な工夫をしている。	はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	担当だけでなく色々な人の意見を取り入れつつ、今後も固定化しないような工夫を実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝LINEで特記事項を流し、支援前に口頭で確認をしている。その内容を1日の流れに記載、共有、また朝の会、昼の会で1日の流れの確認をしている。		途中出勤のスタッフから支援前確認内容がある場合はLINEで流してほしいと要望あり。今後特記事項がある場合、LINEにて共有する。朝の会、昼の会の確認を意識してやっていけているので、それを継続して習慣化していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	出勤時間、退勤時間にかなりバラツキがあり、気づいた点があった場合は個々や業種毎に話し合うことが多い。また共有事項についてはLINEにて連絡を行っている。		その日のうちや次の日の朝の会又昼の会で伝えられることは伝えたり、話し合いの場として設けていきたい。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々のケア、活動、本人の様子、特記事項など記録するようにしている。記載忘れの場合は送迎時で口頭にて、またLINEにてお伝えしている。支援の検証や改善については時々スタッフから疑問など出た際に話し合うことがある。		引き続き、記録ノートへの正確な記録を徹底し、ご家族への連絡漏れがないように心掛ける。またスタッフ間の情報共有も漏れがないようにLINEや口頭にて伝えていくことを徹底する。支援の検証・改善については話し合う機会をもっと増やしていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	アセスメントや日々の様子を基に、半年に一回各職種のスタッフが集まり実施している。		引き続き継続する
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	コロナ禍によりリモートで開催されることがあった。開催される場合、管理者または代表と必要に応じて看護師、理学療法士が参加できるように相談、調整している。		これからもできる限り参加していきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	学校送迎時は担任の先生との関係を築き、情報共有、疑問点や学校での様子をいつでも聞けるように心掛けている。相談支援員からのモニタリング時にも情報共有と情報収集を心がけている。また必要時、相談事業所やデイと連携を取り、利用者の情報共有をしている。		引き続き学校の先生とは連携を取っていき、普段の様子や学校での様子を聞いていく。他事業所や相談支援員ともいつでも連絡が取れるような関係性作りを継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	ご家族を通じて医療的ケアの指示書での主治医とのやり取りや緊急搬送時の連絡先をまとめて表にして、緊急時に備えている。新年度には変更がないか毎年ご家族に手紙を配り確認してもらっている。		今後も保護者から情報を元に連絡体制を整えていく。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行例無し		今後移行事例がある場合は情報提供していく
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	学校卒業前に学校よりリモートで移行支援会議があり、それに参加させてもらった。学校と各事業所と情報共有や情報提供を行った。		今後も移行支援がある場合、積極的に参加していく
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	計画書を頂いたり、モニタリングなどを電話で情報共有等をしている。		引き続き連携を取り情報共有をしていく。研修の情報提供をスタッフに引き続きしていき、専門分野以外の参加も促していく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナのためできていない	はい:3 どちらともいえない:1 いいえ:3 わからない:7	コロナが落ち着き交流ができる状況になれば、近隣の保育園や児童デイ等の交流の機会を検討する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方が集う公園へ遊びに行ったり、また近くのコンビニやお店に行く機会も多かった。		引き続き、ご近所付き合いや近くのお店へ行くなど地域交流の機会を作る。大家さんへの感謝を忘れず、スタッフ利用者さんともに交流の機会を増やしたい。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にお伝えしており、通所してから問い合わせがあった場合もご納得いただけるまで説明をしている。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	契約時に丁寧に説明すると共に、保護者からの疑問点等をしっかり聞き、それに具体的に応えていくよう心掛ける。また通所してからも送迎時や電話等で問い合わせがあった場合、丁寧に詳しく説明できるよう努める。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を作成した後、ご家族にお渡し内容を確認していただいているが、直接の説明はできていない。内容に訂正・追加ある場合は再度計画書の立て直しをしている。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	面談時に支援計画についての説明とお話ができる機会を検討し、面談が難しい場合は支援計画書を渡す際にノートに記載していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談があった場合、助言や支援をさせていただいている。	はい:5 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:7	ペアレントトレーニングの知識をスタッフ間で共有し、ご家族にいい方法で支援していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	記録ノートや送迎時にデイでの状況をお伝えし、ご家族からも家での様子などお聞きするようにしている。また伝え忘れたことがあった場合はすぐLINEや電話にて連絡している。また半年に一回のモニタリングでご家族とお話する時間を頂き、そこで話ができるように努めている。	はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	今後もご家族との共通認識を持つため連携をしっかりとし、課題が出た場合はご家族とスタッフとで話し合い解決していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご家族より相談があった場合、その内容を傾聴し助言している。その場で助言できない場合は、施設に持ち帰りスタッフ間で話し合い、適切な助言ができるよう努めている。	はい:10 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:2	相談しやすい環境づくりや安心して相談できる関係作りに努める。また相談があった場合は、適切な対応と必要な助言ができるようにスタッフで話し合い、共有していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会や保護者会の開催は行っていない。	はい:2 どちらともいえない:3 いいえ:2 わからない:7	保護者会が開催される際は全面的に協力し、連携支援する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速な対応に努めている。上にすぐ伝え、またその出来事をすぐにスタッフ間で共有し、今後の対応について話し合いをしている。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	今後も苦情に対する対応体制についてスタッフ間で共有すると共に、迅速な対応を心掛けていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々のコミュニケーション手段を把握し、スタッフ間で共有し、意思疎通しやすいように支援している。また意思表示をしやすい関係作りや環境づくりに努め、課題があった場合は会議等で話し合うようにしている。ご家族とは送迎時、LINE、電話等で情報伝達に努めている。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	今後も利用者からの意思表示を受け取れるようにコミュニケーション方法を模索しながら、コミュニケーションをしっかりとっていく。ご家族ともコミュニケーションをより増やし、情報共有をしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	3か月に一度、2施設の活動内容などを会報にて配布している。活動の様子などをご家族に写真で送ったり、インスタグラムやFacebookに載せて発信している。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	Instagramのストーリーだけでも多く更新し、イベント毎にブログを更新、ご家族への写真送信も増やすことで施設での活動や過ごし方を知ってもらえるように努める。また送迎時に活動内容やその時の様子を口頭でお伝えしていきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	日頃から取り扱いには注意している。またSNSへの写真掲載について書面にて利用者から許可を取ると共に、写真使用に関して最善の注意を払っている。個人ファイルについても出しっぱなしにしないなど基本的なところも注意している。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	今後も個人情報の取り扱いについては十分に注意する。また施設内での個人情報についても気を抜くことなく注意していけるよう意識していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアルは作成し、スタッフ間で周知するため研修・実技を開いた。防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは今後研修を開き、話し合いの中で作成していく。	はい:9 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:4	マニュアル作成をしたのち、スタッフやご家族への周知していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な避難訓練の実施。避難訓練後も次に繋げるためスタッフ間で話し合いを行い、記録に残している。	はい:8 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:5	引き続き、定期的な避難訓練の実施に努める。またあらゆる災害を想定して訓練をし、非常時に備えていく。できない時もあるため意識して時間を確保していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	3か月に1回ミーティングにて研修をしている。		引き続き、定期的な研修を実施する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	実施できている。 安全のために行う身体拘束をする場合は必ず本人に説明した上で、不安や痛みなどの負担をかけないような行動、声掛けを行いつつ複数人のスタッフで身体を補助している。		今後も安全に考慮し、本人、ご家族への説明と負担軽減をした上で、状況に応じて対応し、支援計画に記載していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	基本的に食事に関してはお家で準備してもらっている。またアレルギーについて書面にて利用前に記載してもらい、医師からの指示書にも記載してもらっている。		施設で用意した食事やおやつに関しては事前にご家族に確認しているため、引き続き継続していく。アレルギーのある利用者をスタッフ間で共有し、十分に注意する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ひやりはっと・事故報告書をいつでも誰でも見られる状況にしている。また月1のミーティングで周知し、話し合いも兼ねている。		ヒヤリハットを作成するだけでなく、今後同じようなことが起こらないようにスタッフ間で振り返り、分析をし、対応策を考えて次に繋げていく。

職員向け

2022年度BASE自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	車いすを置くスペースや利用者の過ごす位置などデッドスペースを最小限にし、その日毎で工夫して動線確保している。またベッドが一台しかないため入れ替わりで使用するなど工夫している。
	②	職員の配置は適切か	5	1	各専門職が正社員としているが、放デイの利用者が来てからはスタッフの数が少ないと感じる。4月より新しいスタッフが来てくれ、また派遣の人に来てもらうなど努めている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	トイレ入り口に段差はあるが、困ることはない。生活スペースはワンフロアなのでバリアフリーとなっている。情報伝達についてはプライバシーの部分別の言い方にするなど工夫はしている。スタッフ間の情報伝達についてはLINE使用を含め、共有を心掛けている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	冬場は乾燥しないように加湿器を、夏場は暑いのが苦手な方のために空調マットを使用。その日の気温に応じて、空調調整を行い、毎日掃除と消毒を行っている。またおもちゃに関してはよだれなどが付いた際に消毒するように意識している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	目標、振り返りのペースを増やせるように努力する。ミーティングを通してみんな意欲的に参加できている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	スタッフからの疑問がある場合、月1のミーティングで話し合い、改善している。またアンケートを基に必要な内容をミーティングで話し合うようにしているが、年1のアンケートも含め、スタッフ1人1人の声を聞き、常日頃から改善していけるように意識していきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	公式ホームページに掲載はしているが、ご家族、スタッフで知らない人も多い。そのため公開後はLINE等にて連絡し、周知する。又スタッフには印刷したものを渡して一読してもらう。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	わからない。 行えていない。今後第三者委員会の設置及び評価を検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	他会社の研修アプリを使い、隙間時間に研修を受けられるようにしている。毎月項目も決まっており、動画視聴後感想も送れるようになっている。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	ご家族からのアンケートと日常でのアセスメントを基にモニタリングをし、支援計画を作成している。その際、各専門職が集まり支援会議を開いている。またアンケート記入にないことも送迎時などにご家族からお聞きできている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	使用していない。 障害にあった適切なアセスメントツールに出会っていないため、個別化してアセスメントを実施している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2	支援会議にてスタッフ間で話し合い、モニタリング、支援会議を行っている。そこから具体的な支援内容を作成している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	支援会議を開くことで共通認識ができ、計画に沿った支援を行うことができている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	担当スタッフによって毎月考案されている。ミーティングで全スタッフに共有している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	担当スタッフだけでなく、他スタッフの意見、考案も聞けるような場を設けるかどうか担当スタッフとも相談したい。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4	2	個々の性格やリハビリ、ケア内容に応じて、個別・集団活動を組み合わせ計画を立てているが、まだまだ工夫の余地有。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	朝の支援前に軽い打ち合わせをしている。途中出勤のスタッフもいるので特記事項があった場合はLINEにて情報共有していく。また一日のスケジュールを作成、記入。朝の会・昼の会で口頭にて支援内容などを確認するようにしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	必ず迄達していない。気づいた点があった場合、個々や業種毎に話し合うことが多い。また共有事項についてはLINEにて連絡を行っている。当日中が難しい場合は、次の日に振り返り、共有を行うようにしていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	日々の記録は細かく記載できていると思う。検証・改善については気づいた時に話し合う場を設けていく。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	アセスメントや日々の様子を基に、半年に一回各職種のスタッフが集まり実施。その場に参加できない場合はリモート参加、もしくは後日聞いている。その後全スタッフに会議記録を一読してもらうようにしている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	わからない。不明。 リモートにて開催。多職種と話し合い、誰が参加す

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携					るかを決めている。
	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	わからない。 利用者によっては関係機関からの引継ぎを行っているが、もっと必要性を感じている。関係機関と連携が取れるような仕組みを作りたい。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	相談員、事業所、訪問看護、訪問リハ等、利用者に関わりのある事業所と連携を取り、情報共有をしていることもある。更に密に連携を取っていくことも必要だと感じる。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	0	ご家族を通じて医療的ケアの指示書や緊急搬送時の連絡先をまとめて表にしている。 書類上は整っているが、電話などで日頃から連絡体制を整え、しっかりとした連携を保つことが大切。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	移行例なし
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	学校お迎え時など、担任の先生と引継ぎの際に情報共有をすることがあった。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	利用者に関わりある事業所と連携を取り、助言を受けることもある。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	コロナにより機会は設けていない

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	わからない。 コロナで参加機会無し
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	送迎時やLINE、連絡ノートにて状況を伝え合うことができている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	5	わからない。 プログラム化はせず必要に応じた支援を実施
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	不明。 通所開始前に説明を行っており、また疑問点があった場合にはその都度お答えしている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	支援計画を作成した後、ご家族にお渡し内容を確認していただいている。内容に訂正・追加ある場合は再度計画書の立て直しをしている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	相談があった場合、スタッフ間で共有し合い、必要な情報や助言をお伝え、支援している。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	地域で既につながっているので重ねではおこなっていない
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	迅速かつ適切に対応できるようにスタッフ間で相談するなど心掛けている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	行事予定の周知はしていないが、3ヶ月に一度「Rosetta通信」と題して会報を発行している。また活動内容をInstagramやFacebookにて発信し、個々にLINEにて活動の写真を送ることもある。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	施設内での個人情報取り扱いも意識して十分注意している。またSNSでの写真使用も同意を得て、署名していただいている。写真を載せるときも背景に個人情報がないかチェックしている。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	個々に合わせて配慮はしている。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	コロナの影響もあり実施できていない。今は難しいと感じる。
	非常時等	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出	4	2	回数はあまりできていない。できたら月に1回避難訓

の 対 応		その他必要な訓練を行っているか			練や防犯対策等の訓練を実施できるような環境づくりに努め、回数を増やしていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	年に1回は薬情報の更新しており、またてんかん発作についても会議等で話し共有している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	食事、おやつの提供無し
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	ひやりはっと・事故報告書をいつでも誰でも見られる状況にしている。また月1のミーティングで周知し、話し合いも兼ねている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	3カ月に一度ミーティングにて話し合い、また研修を実施している
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	スタッフにも周知、かつ支援計画にも記載している。身体拘束となる場合は、スタッフ間で話し合い、共有、その後支援計画に記載のちご家族に口頭にてお伝えしていく。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

小規模事業所のため、一人一人に密に関わる時間が取りやすく、親御さんや学校の先生方などとも連携が良く取れているように思う。スタッフ同士も日々声を掛け合いながら、上手く業務分担できるよう、全員で努力していると思う。

<ご家族からのご意見>

ご協力ありがとうございました。